

在日米国商工会議所の理事会が大阪で開催されました

大阪外国企業誘致センター(O-BIC)は10月2日、在日米国商工会議所(ACCJ)の理事会メンバーを迎え、レセプションを実施した。これは、O-BICによるACCJ理事会の大阪誘致が実現したもので、一昨年に続き2回目。

ACCJは約1300社の会員を擁する日本最大の外資系経済団体。今回の理事会歓迎レセプションにはトーマス・ウィッソン会頭をはじめ、マイケル・ボブロボ副会頭・関西支部長、エドワード・ドン駐大阪・神戸米国総領事ら計15人が参加した。

レセプションでは、大阪商工会議所の野村明雄会頭が、10月1日から稼動したシャープ堺工場を紹介し、情報家電や環境など先端産業の集積が進み、ダイナミックに変貌を遂げつつある大阪・関西の魅力をアピールした。

一方、ウィッソン会頭は、インターネット時代におけるフェース・ツー・フェースの交流の重要性を強調するとともに、今後も引き続き大阪・関西の動きを注視したいと述べた。

この後、一行は大阪湾地域を海上から視察したほか、翌日、「水都大阪 2009」の関連事業として開催されたチャリティーウォークにも参加した。



野村会頭



ウィッソン会頭



ドン総領事

